

UNITE
FOR
GOOD

2025-26年度 国際ロータリー会長メッセージ
『よいことのために手を取りあおう』
RI 会長 フランチェスコ・アレツォ

川崎北ロータリークラブ会長方針
『川崎北ロータリークラブ会員である自覚を持ち、
当クラブを継続性のあるクラブへ』
会長 谷口一成

Rotary  **川崎北ロータリークラブ会報**

会長 谷口一成 幹事 松山直樹 会報委員長 大塚 正一
事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com
URL：http://kawasaki-north-rc.blue.cocan.jp/ 例会：毎週水曜日 12：30 二子玉川エクセルホテル東急

第3128例会

令和8年3月25日(水)

(本年度第28回)

点 鐘

谷口一成 会長

司会と斉唱

帯谷昌充 副会場監督

河内辰夫ソングリーダー
「それこそロータリー」

会員数 39名 (対象外2名)	出席 26名	欠席 13名 出席率 70.27%
前々回訂正 (対象外1名)	欠席 12名	MAKE UP 3名 訂正出席率 78.95%

お客様紹介

谷口一成 会長

ゲスト・スピーカー 元ラグビー日本代表

大野均 様

RID2790 柏南ロータリークラブ

齊藤洋子 様

パストガバナー 川崎南ロータリークラブ

志村雄治 様

地区ポリオプラス委員長 横浜ベイロータリークラブ

生駒寅男 様

地区ロータリーアクト委員長 横浜瀬谷ロータリークラブ

依田紀久子 様

川崎ロータリークラブ会長 川崎市スポーツ協会会長

中山紳一 様

横浜鶴見北ロータリークラブ幹事

小笠原憲介 様

横浜鶴見北ロータリークラブ幹事ゲスト

小笠原彩子 様

川崎麻生ロータリークラブ

鈴木憲治 様

地区ラーニング委員 川崎中原ロータリークラブ

市川功一 様

2011-12青少年交換学生 (川崎中原RC受け入れ・ブラジル)

Gabriel BRUNETTI (ガブリエル・ブルネッチ) 様

ガブリエル・ブルネッチ君のお母様

Taquaritinga(タクアリチンガ)RC

Patricia Elena Langhitano BRUNETTI

(パトリスア・ブルネッチ) 様

地区RA委員 奨学金学友VTT委員 川崎中原ロータリークラブ

都倉八重子 様

佐久間会員ゲスト

プロゴルファー

佐藤千紘 様

松山幹事ゲスト

株式会社 one asset 代表取締役

鈴木威 様

妻鹿会員ゲスト

マンションリサーチ(株)取締役執行役員

利根川諒志 様

妻鹿会員ゲスト

(株)ルミステック 代表取締役

梶明希人 様

バナー交換

谷口一成 会長

4540地区の Taquaritinga(タクアリチンガ)RC は、サンパウロから車で4時間のところだそうです。

今年65周年とのことですが、会員は男性52人、女性48人のクラブです。

入会時に奥様も入会されるか聞かれるそうです。例会は毎週午後7時から8時までミーティング、8時から10時まで食事、10時以降はその時々とのことです。



会長報告

谷口一成 会長

1. 地区より、次年度 地区副委員長の委嘱状が届きましたのでお渡しします。

米山奨学金増進委員会 副委員長： 峯岸雅宏 会員

2. 本日予定しておりましたクラブ協議会は、4月15日に延期させていただきます。

幹事報告

松山直樹 幹事

1. 地区からの来信

① 2026-27年度地区研修・協議会 分科会 動画配信開始のご連絡が届いております。

公開日時：2026年3月17日より

(奉仕部門は23日(月)公開予定)。

視聴URL： https://ri2590.org/district-assembly_2026-27/

対象者へ配信済

※各分科会出席者は、事前に動画視聴の上、サイト内報告ページより視聴報告をお送りください。

報告期限：2026年3月29日(地区研修・協議会当日まで)

② 会長エレクトラーニングセミナー補講のご案内が届いております。

日時：2026年4月12日(日) 13:00-17:30

場所：ガバナー事務所

※野口隆一会長エレクト、ご出席予定です。

- ③ 米山奨学生・カウンセラーのためのオリエンテーションのご案内が届いております。
日時：2026年4月19日(日) 14:00 - 16:30
場所：ホテルプラム

2. 他クラブ例会臨時変更

- 川崎百合丘 RC
3月31日(火) お花見例会 遊輪 柿生店 点鐘 18:00
4月14日⇒16日(木) 第3G 合同交流会 ホテル ARU KSP 点鐘 18:00
- 川崎麻生 RC
4月3日(金) ホテルモリノレストラン「ひだまり」点鐘 12:30
4月17日⇒16日(木) 第3G 合同交流会 ホテル ARU KSP 点鐘 18:00
4月1日(水) 横浜あざみ RC と合同例会 二子玉川エクセルホテル東急 点鐘 12:30

3. 例会等のご連絡

- ・ 4月1日(水) 横浜あざみ RC と合同例会 二子玉川エクセルホテル東急 点鐘 12:30

委員会報告

職業奉仕委員長、地区RYLA委員長 加瀬健史 会員

先週末3連休に地区行事として RYLA 事業・能登復興支援として行ってまいりました。

川崎 RC 及び川崎中原 RC の皆様には、今回ご後援いただきありがとうございました。

参加した若者が、みるみる変わっていく姿が見られました。

これはひとえに会員の皆様から費用の負担をしていただき、温かいご理解ご支援をいただいたからだと思います。

改めて感謝申し上げます。

詳しい内容につきましては、来月の「ガバナー月信」に寄稿しておりますのでご覧ください。

卓話

元ラグビー日本代表 大野均 様

「弱小チームからワールドカップで勝つまで」

私は現在、東芝ブレイブルーパス東京というチームのアンバサダーをしています。

2020年5月に42歳で引退するまで、東芝ブレイブルーパス東京の選手として19年間プレーし、歴代最多の238試合に出場しました。また、日本代表としては2004年から2017年まで13年間プレーして、日本代表の歴史で最も多い98試合に出場しました。

この話をすると子供のころからラグビーをやっていたと思われるのですが、私がラグビーを始めたのは大学生になってからで、小学校から高校まで野球一筋でした。読売ジャイアンツが大好きで、同じ福島県出身の中畑清さんが私のヒーローでした。

高校まで続けた野球でしたが、なかなかレギュラーとして試合に出ることはできませんでした。

身長は小学生のころから高かったのですが、野球の試合中に補欠でベンチに座っている私を見た相手校の選手が、「あのベンチに座っているデカイやつは、チャンスになったらピンチヒッターで出てくる秘密兵器だ」と囁いていたようです。しかし試合終了まで秘密兵器は秘密のままでした。



それでも野球は好きだったので、大学に行っても続けるつもりでしたが、大学入学直後に運命を変える出会いがありました。それがラグビーとの出会いです。

大学は福島・郡山にある日本大学工学部でした。

野球部の練習を見ようとグラウンドに向かっていたわけですが、途中で突然両脇を屈強な2人の先輩に抱えられて、連れていかれたのがラグビー部の部室でした。

「野球部に入りたい」と断った後も熱心に勧誘をしてくれたので、一度くらいラグビー部のグラウンドに顔を出さないと失礼かと思い、足を運びましたがグラウンドで練習をする姿に「この人たちの仲間に入りたい」という熱を感じました。

工学部の実習や研究があって手一杯のはずですが、彼らは当時「きつい、汚い、危険」という3Kと言われたラグビーを真剣に楽しんでいました。そのラグビー部の発していた熱は、私の在学中の4年間、変わらずにグラウンドにあり続けました。

ラグビーは15人で行うスポーツですが、部員数が17名足らずのクラブでは授業やケガで、練習時に15名が揃わないこともありましたが、でも人数が少ないことを言い訳にせず、「どうやったら強くなれるか」「どうやったら試合に勝てるのか」を上級生、下級生に関係なく本気で考え、意見を出し合い、ラグビーに本気で向き合いました。

そして「どんなに辛くしんどい時でも、仲間の為にグラウンドに立って、チームの為に身体を張る」というラグビーに最も必要な気持ちの強さを、4年間で教わり身に付けることができたのだと思います。

4年後、東芝にラグビーで採用され入社したにもかかわらず、当時のラグビー部の監督から「大野はラグビーに関してはド素人だ」と言われるほど、ラグビーに関しては無知でした。

ラグビーを始めたとき、まさか自分が日本のトップチームでプレーできるなどとは微塵も思いませんでした。目の前の一回ごとの練習を真剣に、がむしゃらに取り組んできたからこそ、ひとつのチームでプレーするというチャンスを掴むことができたのだと思っています。

社会人1年目、無名の弱小チーム出身の私が、日本代表がひしめくチームで本当に通用するのか不安しかありませんでした。

その不安を払拭するには、練習することだけでした。

人よりも少しでも汗をかくことを積み重ねた結果、2年目に公式戦デビューすることができました。

2004年には日本代表にも選出され、国を代表して世界で戦う舞台に立つことができました。

日本代表として2007年、2011年と2度のワールドカップに出場し勝利を目差しましたが、結果1勝もできず2度のワールドカップが終わりました。

2012年、34歳となり体力的には自信がりましたが、4年後のワールドカップに向けた日本代表のヘッドコーチが、召集してくれる自信はありませんでしたが、日本代表ヘッドコーチとなったエディ・ジョーンズ監督は、そんな私を召集してくれたのです。

この方の名を聞いた事があるかも知れませんが、世界的な名コーチと呼ばれています。

エディ・ジョーンズ 監督

- ・2003年 オーストラリア代表監督 第5回ワールドカップ準優勝 
- ・2007年 南アフリカ代表アドバイザー 第6回ワールドカップ優勝 
- ・2012年～2015年 日本代表監督 
- ・2019年 イングランド代表監督 第9回ワールドカップ準優勝 
- ・2024年～ 日本代表監督 

エディ・ジョーンズヘッドコーチに、日本代表に呼ばれたことは、嬉しさと同時に「ほっ」としたのを覚えています。呼んでくれたジョーンズヘッドコーチのためにも頑張ろうと、代表合宿に向かいました。初練習を終えた後に、メディアから今回のメンバーのベテラン選手への質問を受けたジョーンズヘッドコーチは、こんなコメントをしました。

「2015年のワールドカップでは、大野はプレイしていないでしょう。でも今のチームには必要です」

私は、このコメントを見たとき自身の年齢を鑑みて、妙に納得したのを覚えています。34歳の自分自身にとって、4年後のワールドカップは、あまりにも遠いものでした。

ジョーンズヘッドコーチの課す猛練習は世界のラグビー界にも知れ渡っており、自分があと4年間その猛練習に耐え、再びワールドカップの舞台に立てるのか正直、自信が持てませんでした。しかし、それと同時に「いつか外されるのなら、外される時を少しでも遅らせてやろう」と、今まで以上に代表としての一日一日を大事にしようとする思いが湧いてきました。

日本代表と言っても、最初はいろいろなチームからの寄せ集めです。

そんなチームが如何にひとつになり、ワールドカップを戦ったのか。そこには「君が代」の存在がありました。

国際試合の前には両国の国家斉唱がありますが、エディ・ジャパンでは試合前に気持ちをひとつにすることと、日本代表として戦う誇りを再認識するために全員で「君が代」を声を出して歌うことを決めました。

それまで歌ったことのない外国出身選手にも、「君が代」の意味を理解してもらい、合宿中の合間に全員で練習し、全員で試合前に国家斉唱し、国際試合に臨みました。

2015年イングランドで開催された4年に一度のラグビーワールドカップで、我々日本代表は当時優勝候補の南アフリカを破りました。

過去のワールドカップでたった1勝しかできなかったチームが、1大会で3勝上げることができました

2012年から4年間、エディ・ジョーンズヘッドコーチのもと世界一厳しいと言われた練習量をこなし、時には理不尽と感じるようなトレーニングを重ねてきました。ジョーンズヘッドコーチのスケジュールは早朝から始まり、一日4セッションのトレーニングに分かれており、各セッションのトレーニング前後にはミーティングがありセッションの目的や反省点、戦術の意思統一を行いました。

GPSで練習中の選手の走行距離や運動強度を取り、コーチやトレーナーが選手のコンディションを細かくチェックし、昼寝の時間やリカバリーの時間が設けられ、次のトレーニングに向けてしっかり準備することが求められました。

私はこれまで、日本代表として4人のヘッドコーチのもとでプレーしてきましたが、エディ・ジョーンズほど緻密に管理し勝つための準備をしてきたヘッドコーチはいませんでした。

この2015年のワールドカップの南アフリカ戦ときの、私は37歳で国際試合96戦目でしたが、まさか自分の選手キャリアにおいて最も輝かしい結果となり、日本のみならず世界中の人から「感動した」と言ってもらえる世紀の番狂わせになるとは、想像もできませんでした。

2019年、2023年と現在ワールドカップ2連覇を達成している南アフリカですが、2015年当時の南アフリカも既にワールドカップ2回、世界ランキング2位の優勝候補で、対する我々日本代表はそれまでワールドカップでたった1勝しかできていませんでした。

試合が行われたイングランドの新聞は、試合前日の記事で日本代表が南アフリカ代表に勝つ確率は1%も無いという記事を載

せていました。

要するに世界中のラグビーファンは、日本代表が勝てるわけがないと試合前は考えていたのだと思います。

その考えが間違いだと世界に示すことかできたのは、辛くても逃げずに目の前の練習に向き合ったハードワークの積み重ねでした。

それでも南アフリカ戦の数日前までは、4年間これだけのトレーニングを積み重ねて来て、それでも70点、80点差をつけられて負けたら、日本がワールドカップで勝てる日が来ないんじゃないか、誰も日本のラグビーを見てくれなくなるんじゃないかという漠然とした不安に襲われることもありました。でも私たちは、このワールドカップの為に世界一厳しいと言われた練習を4年間積み重ねてきたこと、それだけを自信にこの試合に臨みました。

試合当日の朝を迎えると、前日まで感じていた不安は不思議と消え、試合会場で日本代表のユニフォームに袖を通してグラウンドに出るときには、「今までやってきたことをすべて出し切って、それでも負けたらしょうがない」という開き直りにも似た覚悟が腹の底で決まり、試合開始のホイッスルを聞きました。

2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップを成功させるためにも、2015年のこのワールドカップで何かしら良い結果を残さなければ、自国開催のワールドカップの成功は成しえないという危機感を、当時の日本代表メンバー全員が抱いていたからこそ、過酷なハードワークに取り組みそれを乗り越え、世界に大きなインパクトを与えることができたのだと思います。そこにはもちろん、チームスタッフの大きいサポートがあったことは言うまでもありません。

選手だけでなくスタッフを含めたチーム全員がワンチームとなり、ハードワークをして勝ち取った勝利でした。

また、4年前に「大野はプレーしていない」と言っていたジョーンズヘッドコーチは、このワールドカップの直前のメディア取材で、こんなことをコメントしていました。

「大野が15人いれば、日本は世界一を狙える」

これはおそらく、私の練習に取り組む姿勢やチームに対しての献身を評価してくれたコメントだと思いますが、私自身もコメントを見たときジョーンズヘッドコーチと4年間戦い、勝負に勝つことができたと感じました。

4年前は自分自身も不可能だと感じていたワールドカップへの出場、南アフリカ代表撃破を実現できたことで、「できない、不可能だ」と思っている事でも自分の想いと努力次第で可能にすることができるんだということを身をもって体験することができました。

2019年、日本で開催されたラグビーワールドカップでは、日本中がラグビーというスポーツで感動と興奮に包まれました。ハードワークの先に何があるかを知っている2015年のワールドカップを経験したメンバーが主体となって、2019年までの4年間で世界の強豪国と身体をぶつけ合い、今までにない経験を積み上げ歴代過去最強の日本代表がそこにありました。世界のラグビーを統括する国際競技連盟（ワールドラグビー）では、ラグビーというスポーツに関わるうえでの基本原則として「ラグビー憲章」というものを定めています。

- 品位
- 尊重
- 結束
- 規律
- 情熱

という5つの言葉から成り立っています。

2019年の日本開催のワールドカップで、日本代表チームはそれを見事に体現し、ベスト8へ進出という快挙を成し遂げられました。

国籍などに関係なく全員が日本代表のユニフォームに誇りを持ち、一人ひとりが己を犠牲にしてホールをつなぎ、勝利に向かうその姿から、大きな感動をもらったという声もたくさん聞くことができました

そしてアジア初開催となったラグビーワールドカップで、世界中から集まった「品位」ある選手たちが、お互いを「尊重」しあい、チームとして「結束」して、「規律」を守りながら「情熱」的に戦うラグビーは、日本人の心を強くつかみました。

今日お集りのみなさんも是非、これからの日本ラグビーに注目していただき、そこからいろいろなものを感じてくれたら嬉しいなと思います。

最後に、私は現役時代のプレーとしてチームのみんながきつい時でも、常に身体を張り走り続けることを信条としていて、座右の銘を「灰になっても、まだ燃える!」としていました。これを大学の科学研究者の方に話したところ、「そもそも灰は燃えないんじゃないか」や「もしかしたら灰の中の未燃物が燃えるのかも」という議論になったと聞きました。

そんなことから、私の座右の銘は「灰になっても、未燃物の部分が、まだ燃える!」と変更させていただきました。

ラグビー選手として19年間走り続けた私の膝はボロボロになり、もはや走ることはできません。

まさに「灰」になりました。

それでもまだまだ続く自分の人生において、ラグビー選手以外の部分で「未燃物」の部分はまだあります。

その自分の「未燃物」の中で、ラグビーに代わる燃えるような情熱を注げるものを見つけて、また燃やしていきたいと思っています。



ニコニコレポート

菅沼舜 副会場監督

柏南ロータリークラブ

齊藤洋子 様

川崎北ロータリークラブには、3回ほど参加させていただいています。

ポリオイベントやRLI研修にも参加させてもらい、本当にお世話になっております。

本日の例会も楽しみにしております。

川崎南ロータリークラブ

志村雄治 様

①大塚ガバナー、川野パストガバナーにお世話になっております。

②大野様、卓話楽しみにしております。

横浜ベイロータリークラブ

生駒寅男 様

皆様には大変お世話になっております。

ラグビーは好きで、本日の卓話を楽しみに参りました。

よろしく願いいたします。

川崎ロータリークラブ

中山紳一 様

皆様、こんにちは

本日は川崎市スポーツ協会の会長として、また、NECの元ラグビー部長として、ラグビー界のレジェンド 大野均ちゃんの卓話を楽しみに、お邪魔させていただきました。

どうぞよろしく願います。

川崎麻生ロータリークラブ

鈴木憲治 様

ご案内いただきありがとうございます。

よろしく願います。

川崎中原ロータリークラブ

市川功一 様

2011-12年度の青少年交換学生のカプリエル君が、15年ぶりにお母様と来日しました。

当クラブの例会と日程が合わないので、貴クラブに参加させていただきます。

川崎中原ロータリークラブ

都倉八重子 様

いつも大変お世話になっております。

本日の卓話、楽しみにして参りました。

よろしく願います。

横浜鶴見北ロータリークラブ

小笠原憲介 様、お母様小笠原彩子 様

本日は、ありがとうございます。

地区ロータリーアクト委員長

横浜瀬谷ロータリークラブ

依田紀久子 様

本日はよろしく願います。

谷口一成 会長、松山直樹 幹事

本日は卓話者としてラグビー界のレジェンド 大野均様にご来会いただきました。

また、多くのゲストの方々にもご出席いただきありがとうございます。

例会を楽しんでいってください。

大野様、よろしく願います。

川野正久 君、佐久間馨 君、松波登 君、松山直樹 君

大野均様にご来訪いただきまして、ありがとうございます。

RLI 半澤剛 君、横山芳春 君

本日は、鉄人 大野様の卓話を楽しみにしておりました。

親睦委員会

三木守 君、清川大輔 君、小川貴之 君、大西陽子 君

本日は卓話者として大野様ご来会ありがとうございます。

また、本日はたくさんの方ご出席をいただきありがとうございます。

当クラブの例会を楽しんでください。

SAA 帯谷昌充 君、加瀬健史 君、末永直 君、菅沼舜 君

本日もご協力ありがとうございます。

今後の予定

4月8日 川崎市長 福田様の卓話

4月15日 環境卓話月間 兼元様の卓話